



—町のスローガン—

豊かな自然みんなで

拓く町 伸びる町

- 今年の主な出来事……… 2・3
- “克雪” 対策を考える… 4・5
- カメラルポ（学校教育
環境の整備終わる）…… 8・9
- まちの話題……… 10・11



広報

東中の給食がスタート

東由利中学校の給食が11月5日にスタートしました。給食の実現は、多忙な親たちの労力軽減や、家計負担の軽減のほか、インスタント食品利用の傾向にあった昼食(弁当)を、計算されたカロリーによるバランスのとれたものにしました。こうした多くのメリットを持つ給食が、本町小・中学校で完全実施されたことを喜びたいと思います。

12月

いがしゆり

No.369

題字 / 佐々木青洋氏（東由利町出身）



特養ホーム建設に着手（地鎮祭・7/2）



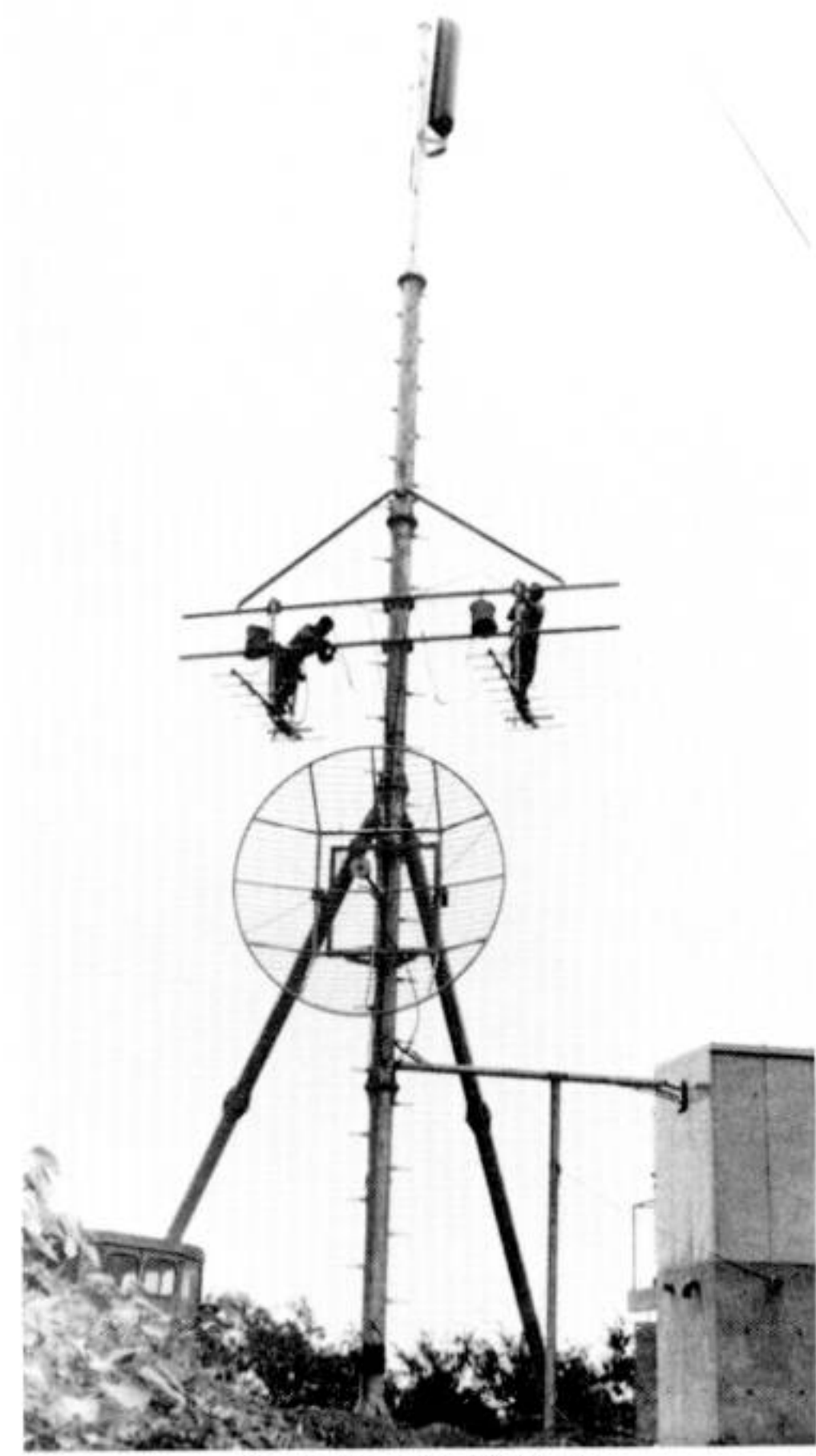
高瀬小にプールを建設（プール開き・8/10）



畜産広場を建設



東由利中の給食開始



東由利中継局を建設

今年も残すところあと1か月となりました。昨年に引き続き稲の豊作が、今年一年を笑顔で閉めくってくれそうです。

今年みなさんに広報でお知らせした中から、町の主な出来事を拾ってみました。この一年をふり返り、明るい新年をお迎えください。

◇ ◇ ◇

● 特養老人ホーム建設に着手

町特別養護老人ホームの建設は、6月下旬に厚生省が建設を認可、7月2日に起工式を行い本格的な工事が始められました。（広報7月号）

● 東由利テレビ中継局を建設

民放テレビの難視聴解消のため、「東由利テレビ中継局」を大平山（上里）地内に建設、710世帯約3、400人の難視聴を解消しました。（広報8月号）

● 高瀬小にプールを建設

昭和59年4月に開校となった高瀬小学校に今年プールを建設。8月10日に完成し、暑かった今夏プールに活用されました。（広報9月号）

● 東由利中の給食開始

東由利中学校に給食棟が建設され、11月5日から給食が開始されました。これにより、町立の学校のすべてが完全給食となりました。（広報12月号）

● 畜産広場を建設

第三期山村振興対策事業により、西山地区（蔵字田子の沢）に畜産広場を建設、今後、本町畜産振興の拠点施設としての利用が期待されます。（広報11月号）

● 大琴婦人消防隊が全国婦人消防操法訓練大会で準優勝

全県消防大会（9月）で優勝し、

1 月

- 1・無火災(1年間)達成
- 6・町消防団出初式(高瀬小体育館)

2 月

- 16・出稼者激励懇談会及びふるさと集会(東京霞ヶ丘町日本青年館・200人参加)
- 26・畜産講演会(有隣館・200人参加)

3 月

- 7~15・町議会定例会〈町開発基本構想策定・町国土利用計画策定・固定資産評価委員に遠藤二三雄氏(宿)を選任〉
- 14・無火災で知事表彰

4 月

- 1・畜産指導員設置(鈴木龍太郎氏)
- 12・行政改革推進本部設置
- 24・自治会長会議(有隣館)
- 28・大火防止訓練(蔵地区)

5 月

- 1・知事市町村訪問(体育館建設等要望)
- 5・無火災ストップ(茂沢で原野火災)
- 25・ふれあいの森植樹(ツツジ300本)
- 31・秋田地方方法務局東由利出張所廃止

6 月

- 10・コミュニティ広場完成(旧住吉小跡)
- 19~21・町敬老会(2会場・414人出席)

7 月

- 1・東由利テレビ中継局完成・電波発射
- 2・町特養老人ホーム着工
- 3・第30回町畜産共進会(大平スキー場構内・77頭出陳・畜産功労者を表彰)
- 20・永慶保育園増築完成(定員130人に増)
- 28・町消防訓練大会(台山グラウンド)
・館合地区流雪溝工事着工

8 月

- 1・誘致企業「秋田信英」第2工場完成・操業開始
- 10・高瀬小プール完成・プール開き
- 15・町成人式(有隣館・93人該当72人出席)
- 28・交通死亡事故ゼロ1,900日達成・交通安全町民大会開催(東中体育館・500人参加)
- 30・林道矢走線着工

9 月

- 3・林道荒沢川線着工
- 11・大琴婦人消防隊が全県婦人消防大会で優勝(秋田市)
- 18・旧老方小校舎、体育館全焼
- 25・町村合併30周年記念植樹(深山国有林地内・杉9,000本)
- 30・八塩地区開拓農道完成

10 月

- 16・畜産広場完成(西山地内)
- 22・大琴婦人消防隊が全国婦人消防操法大会で準優勝(横浜市)
- 30・田代バイパス完成

11 月

- 5・東由利中の給食棟完成・給食開始
- 7・町教育長に畑山昭一氏(島)就任
- ・蔵地区流雪溝完成(800m)



交通死亡事故ゼロ1,900日達成(町民大会・8/28)



町村合併30周年記念植樹祭実施



仁賀保矢島館合線の田代バイパスが完成



大琴婦人消防隊が全国大会準優勝



10月22日に横浜市で開かれた第1回全国婦人消防操法大会に秋田県代表で出場した大琴婦人消防隊が、みごと準優勝を獲得、県消防史上に大きな功績を残しました。(広報11月号)

●交通安全町民大会開催
本町における交通死亡事故ゼロの継続日数が、8月28日で1,900日を記録。パレードや町民大会を行い、2,000日達成(今月6日)にむけ、祈念しました。

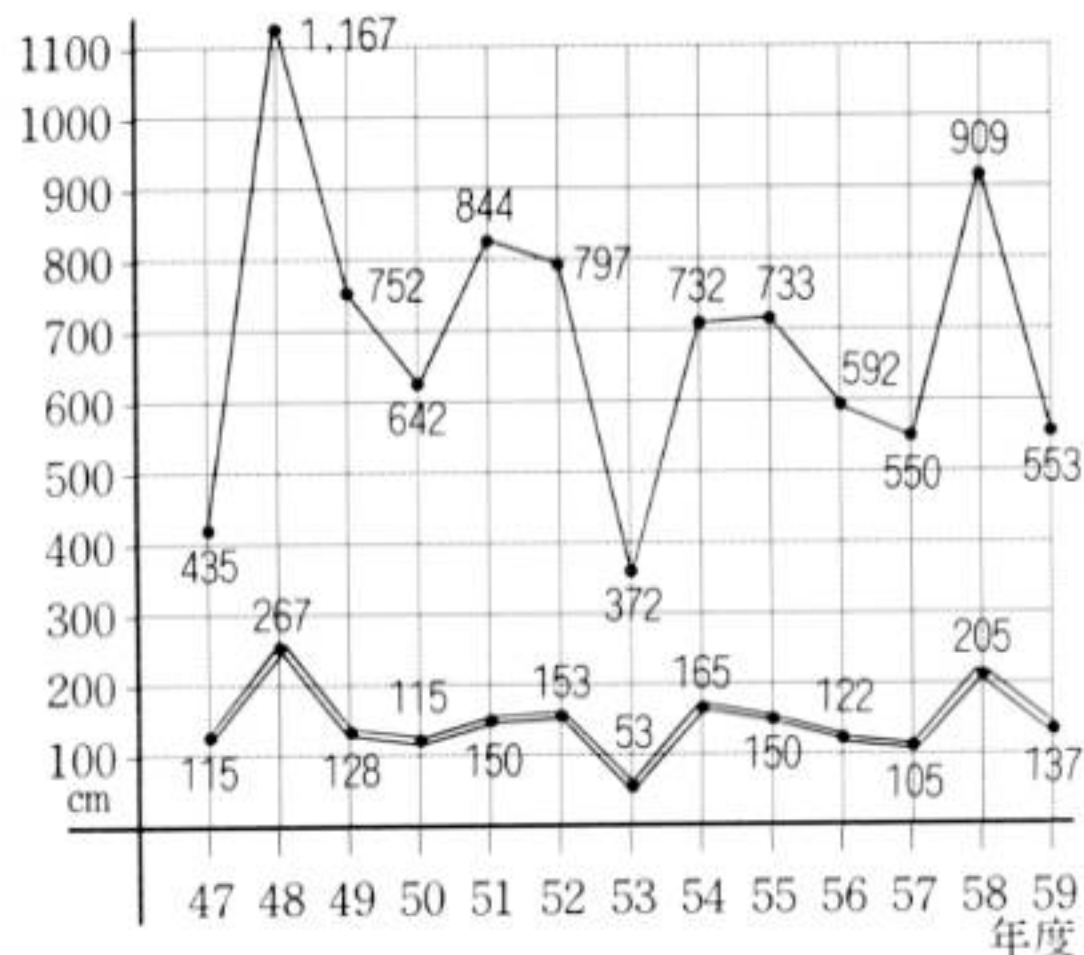
●町村合併30周年記念植樹祭実施
町村合併30周年を記念する植樹が9月26日、田代字深山国有林地内で行われ、東由利中学校生徒など300人余りによって、約3ヘクタールの山林に9千本の杉苗が植えられました。(広報10月号)

●仁賀保矢島館合線の田代バイパスが完成
昭和56年度から改良・舗装工事が進められていた仁賀保矢島館合線の須郷田川原田橋・沖田橋間で、残されていた田代バイパスが10月に完成、同区間が完工しました。(広報11月号)

過去の最深積雪と降雪累計

(秋田地方気象台東由利観測所)

●—● 最深積雪 (cm)
●—● 降雪累計 (cm)



昭和48年豪雪

克雪対策を考える

冬も快適な町づくりを目指して

期待もてる円滑な除雪

本町にとって「宿命の冬」がいよいよやってきました。これから春までの約4か月間は、冷たい雪との闘いをしなければなりません。しかし、除雪体制が整い、冬の生活体系が大きく変わった現在、雪を「宿命の敵」とすることができるようか。昨年策定した「克雪・利雪町づくり計画」の、克雪対策について紹介しながら、快適な冬の暮らしを創造するために、共に考えてみたいと思います。

雪国の生活で最大の課題は、冬季交通の確保です。町では、克雪対策の重点施策として、道路の除排雪を第一に、除雪機械の整備や豪雪時を想定した道路除雪体制づくりに努めてきました。この結果、今年度までにロータリー除雪車等12台の除雪機械を配備し、10名のオペレーターを確保するなど、一日当たり総延長約100キロメートルの道路の除雪が可能となっています。しかも、昭和58年度から国道は県が民間に委託して除雪を行うようになったため、除雪機能が一段とアップしています。

こうした除雪体制のなかにあつて、今後課題とされるのは除排雪を容易にする道路の改良整備です。道路の整備は先月号でもお知らせしたように、直営等の道路改良・舗装では今年度8、800メートルを整備、国・県道においても、国道107号線宿街区が本格的に工事化されるなど、着実に整備が進み、今後ますますスムーズな除雪が期待されます。

望まれる流雪溝の設置

除雪体制が確立し道路の整備が進みながらも、住宅密集地ではいまだに除排雪が困難となっています。特に豪雪時における市街地の除排雪は、たいへんな労力と時間を要します。これを解消するためには、市街地内の道路の拡幅が必要となりますが、現状ではかなり難しく、より自然な方法として、流雪溝の設置が望まれています。

雪国に生きる —私の冬の生活—

除雪は私の体力づくり

佐々木忠夫さん
中通

また長い冬がやってきました。雪は確かにじやもので、生活に良い影響は与えませんが、私はふだん肉体的労働をしていないので、朝夕の除雪作業を、体力づくりだと思いついでやっています。

朝少し早目に起きて、除雪作業で汗したあとに食べる朝ごはんの味は格別で、夏季には味わうことができません。

家計を助ける冬の省エネ

佐藤ミネ子さん
寺田

冬は暖房費が家計を圧迫します。私の家では次のことに心がけ暖房費を節約しています。

- ・お湯はなるべくストーブを使って沸かすようにしている。
- ・ふろの残り湯は洗濯や掃除に使用している。
- ・不用な電気は、できるだけ小

このため、大琴地区に昭和53年から55年に県単事業として延長約800メートルの流雪溝を設置、現在は交通渋滞の解消や、屋根雪の処理などに大きな威力を発揮しています。このほか、蔵地区に、昭和58年から同じく県単事業として進めていた延長800メートル（事業費4、800万円）の流雪溝がこのほど完



このほど完成した蔵地区の流雪溝

成、今後は、老方、館合地区にも昭和63年ごろまでに完成させる予定で現在整備を急いでいます。また、「克雪・利雪町づくり計画」では、今後、流雪溝の設置を消雪パイプなどの融雪施設とも併せて研究・検討を進めていくことにしています。

雪国に適した家づくりを

本町の平年積雪量は約1・5メートルに達しているため、屋根の雪おろしは年2〜3回を数え、冬季の最も厳しい作業になっています。また、暖房期間が半年近くにも及ぶことから、燃料費等が家計を大きく圧迫しています。雪国に住む者の宿命と言えます。雪おろし作業に伴う労働力の確保と、暖房費の負担は今後も個々の生活に大きな影響を与えていくものと思われます。このため、雪おろしの軽減や、

快適な暮らしに求められる、雪国に適した構造の住宅



省エネルギーにむけた住宅の構造が快適な暮らしの大きな条件となり、全国画一的住宅様式思想から脱却した雪国に適した家を、これまでの経験などから、住民自らが創造していくことが要求されます。こうしたことから、「克雪・利雪町づくり計画」では、屋根雪の処理や、断熱等を考慮した耐雪耐寒型モデル住宅を建設しその普及を図るとともに、同型の住宅を建

みんなの協力が必要です

雪を克服し、快適な暮らしを創造するための町の施策をみてきましたが、これらを確実に実行していくためには、住民一人一人の協力が不可欠の条件です。しかし、

除雪体制の充実とともに、住民の行政依存の傾向が強くなり、屋根雪の道路への放り、ゴミの集積場所以外への投棄など、住民のモラルの低下が現実には浮き彫りにされています。「克雪」は、雪国東由利に住む私たち住民の共通課題であり、それぞれが「役割分担」を持ち、ルールを守り、冬も快適

守ってください 除雪のマナー

- 道路上に置いてある建築、建設資材等は早急に除去してください。
- 路上には違法駐車や、故障車の放置をしないでください。
- 待避所は交通交差のためのものです。駐車場がわりにしないでください。
- 屋根の雪や宅地の雪は、道路に持ち出さないでください。

な町づくりのためにご協力をお願いします。

- 屋根の雪が道路に落ちて交通に支障をきたす場合は、よく注意して、雪が落ちたら早急に自分で処理してください。
- 除雪中に各戸の出入口に寄せられた雪は、めんどろでも各戸で取り除いてください。
- 歩道の除雪は、自治会などで協力して行い、歩行者・自転車などの安全を図ってください。
- 路上にごみを置くと、除雪作業で散らばってしまいますので、ごみは収集される日に収集場所に、十分注意をはらって出してください。
- 交通量の多い家の前は、交通事故が起きないように、見通しよく除雪してください。

築する人に対する相談や情報提供、資金融資制度等を検討していくことにしています。

他諸施策にも細心の努力

このほか、「克雪・利雪町づくり計画」では、▼収集場所が道路に隣接し除雪の防げになっているゴミ処理については、行政と住民の協力で適切な処理のできるシステムづくりをする▼防災のために、今後有蓋防火貯水槽と消火栓の設置拡大を図る▼地域医療維持のため、救急活動に支障のないよう常に道路交通を確保する▼交通事故防止のため雪壁の除去に努める。▼融雪による災害発生を未然に防ぐため、河川改修を進めるなど、宿願の冬を住民が快適に安心して生活できるよう、今後も細心の努力を図って行くことにしています。

まめに消すようにしている。これだけでもずいぶん節約できます。みなさんも実行してみてください。

山仕事に欠かせない「雪」



高橋貞一郎さん
(館)新田

私は冬になると山仕事に出かけますが、雪は作業に欠かせない道具として私たちの仕事を手伝ってききました。それは、どんな場所にも雪で道路を通すことができ、木材を容易に運搬できるからです。今では機械化が進み、昔ほど雪を利用しませんが、それでもまだまだ雪に頼る作業があり、今後も雪は私たちの仕事に役立つことと思います。

水道管の 凍結に 注意!!

水道管は気温がマイナス5度以下になると、凍ったり破裂したりします。次のことに注意し、凍結や破裂を防ぎましょう。

（凍らせないために）

▽むき出しの部分、北向きや日陰、風の当たる所や戸外では防寒巻にし、日中でも不凍栓を閉めるよう心がける。

▽特に寒い夜は、蛇口部分にタオルなどを巻いて保温する。
▽不凍栓は、蛇口を開いて水を流しながら、完全に閉める。

（凍ったときの処置）

▽凍っていると思われる部分にタオルを巻き、お湯を少しずつかける。（急にかけると破裂の恐れがある）

凍結がどうしても解けない場合や破裂したときは、町指定水道工事店に連絡してください。

解凍する場合の料金は、1時間以内の工事で約3、000円です。

長谷山施設(館新田) 69 3 8 0 7
共栄施設(横小路) 69 2 4 3 7
加藤施設(本莊市) 23 0 4 8 4

収量・品質ともに史上最高

10a 当たり
572キロ

前年より4キロ(10a当り)の増

町農業総合指導センターがまとめたところによると、10a当りの稲の収量は昨年より4キロ多い、572キロで、本町に今年割り当てられていた77、547俵の売り渡し米限度数量に対して、11月20日現在9、334俵上回る86、881俵が売り渡しできる見込み

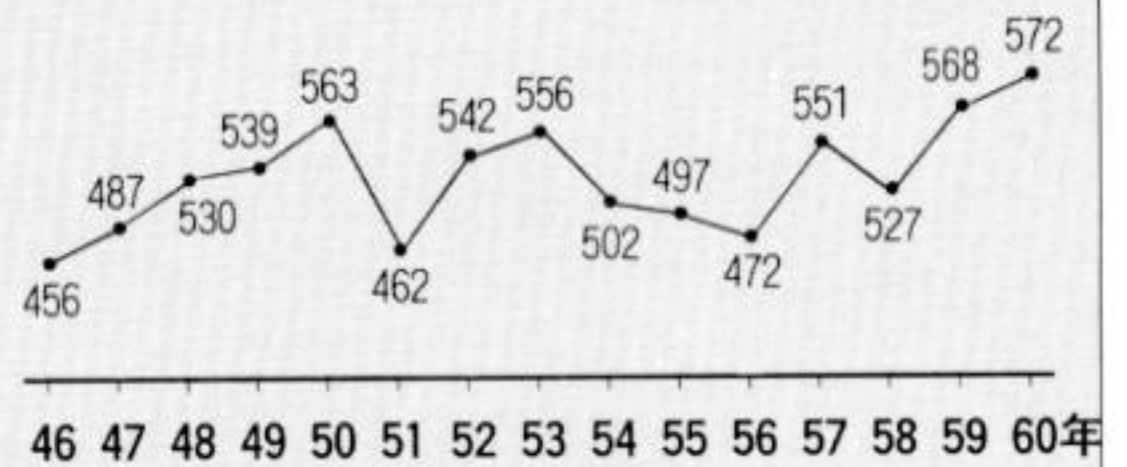
本年度産の稲の作柄は、町農業総合指導センターの11月20日までのまとめで、作況指数が「107」の「良」、10a当たりの平均では572キロと、昨年を上回る史上最高の豊作が見込まれています。

また、1等米比率（他用途利用米を除く）も、94・4パーセント、豊作だった昨年の88・2パーセントをはるかに上回り、高収量・高品質の稲の作柄に、稲作農家は表情を明るくしています。



収穫時の長雨に悩まされながらも
2年続きの豊作を得た今年の稲作

年次別10a 当たり収量



となつています。

1等米は94・4パーセント

売り渡し米の等級別では、1等米が全体の94・4パーセントを占め82、059俵、2等米が5・3パーセントの4、620俵、3等米が0・2パーセントの202俵と、1等米の比率が昨年より6・2パーセント上回り、これまでにない高品質となっています。

豊作の要因は
出穂・登熟期の好天

同センターでは、高品質・高収量の米が生産されたことについて「出穂から登熟期の天候が良かったことと、収穫時の長雨による影響も、機械乾燥で補った。また、ササニシキやあきたこまちなどの良質米の作付農家が増加している」ことをあげ、「これを機に、1等米づくり運動の推進にますます力を入れていきたい」としています。

河川災害復旧工事費 などを補正 — 町臨時議会 —

町議会臨時会が、11月15日に開かれ、一般会計補正予算と簡易水道事業特別会計補正予算の2議案を審議、いずれも原案どおり可決し閉会しました。

一般会計では現計予算に3千517万5千円が追加され、歳入歳出の総額がそれぞれ25億1千84万8千円となりました。補正予算の主な内訳は次のとおりです。

▼黒沢川など8か所の河川災害復旧工事費 2千606万8千円 ▼国道107号線宿工区改良に伴う水道管の移設工事費 294万8千円



河川災害復旧工事費の補正予算が可決、年度内に黒沢川など8か所で復旧工事が行われる。

八塩地区開拓農道改良 工事が完成 登山道入口まで車OK

県が昭和54年から工事を進めていた八塩地区開拓農道（深山の小松正勝さん宅の前から八塩山登山道風平入口）の、改良一部舗装工事がこのほど完成しました。

また、同地区には今後出羽丘陵開発事業が予定され、関連道路が同農道と連結することになっています。このため、産業用として幅広く利用されることはもちろん、登山道入口まで車で行けることから、登山者や山菜取りの利用が増えそうです。



完成した八塩地区開拓農道

酔っていないと思っても 体は十分酔っています



「オラは死んじまっただー」という歌が流行したことがあります。この歌は酔っぱらい運転をして死んでしまった人のことをパロディ化したものですが、この歌でもわかるように、酔っぱらい運転は、死を背負った運転といえます。

酒酔い運転はもちろんのこと、酒気帯び運転も道路交通法で禁じられていることは、ドライバーの皆さんは百も承知のはず。それでも、車を運転してしまう人たちの言い訳は、

「あまり酔っていないと思ったから」とか「少ししか飲んでいないから」「自分は酒に強いから」などです。

しかし、いくらお酒に強い人でも、アルコールは体の機能に間違いなく悪影響を与えます。体が運転をするのに適さない次のような状態になっていることを忘れないでください。

1
上手に運転している
と錯覚する

気持ちが大きくなり、無理な追い越しや割り込みなどを平気でするようになります。

2
居眠り運転を
しやすくなる

アルコールには睡眠作用があります。アルコールは、人間の神経などに麻酔薬と同じ働きをします。体が疲れているときなどは、知らず知らずのうちに居眠りをしがちになります。

3
注意力が散漫になる

周囲に対する気くばり、注意力

4
反応が鈍くなる

が鈍くなります。そのため前の車ばかりに気をとられ、横から出てくる自動車や歩行者を見落としたりすることが多くなります。

5
運動動作が
ぎこちなくなる

アルコールでマヒした大脳は運動機能を低下させます。そのためハンドル操作やギヤ・チェンジなどがスムーズにできなくなり、蛇



行運転をしたりしてしまいます。

12月から1月にかけては、何かとお酒を飲む機会が増えます。「飲んだら乗るな、乗るなら飲むな」を地域や職場、家庭ぐるみで実践しましょう。また、飲食店経営者の方は、車を運転するお客さんにはお酒を出さないとか、飲んだときは車のカギを預かるなどの思いやりある配慮をしてあげましょう。

年末年始防犯運動実施中

今シーズンのナイターは ゆったりと滑れます

ゲレンデ改良・照明増設
大平スキー場20日オープン

町では大平スキー場をもっと大勢の方に利用してもらおうと、このほどゲレンデの一部を改良しました。また、ナイタースキーができるゲレンデの範囲を広げるため照明を増設する予定です。

これにより、今シーズンのナイタースキーは、第一、第二の両リフトが利用でき、ゆったりとしたスキーが楽しめます。

スキー場開きは、今月20日に行われる予定です。

テレフオンサービス

69-2211

2,000日今月6日で達成

ステッカーを作成・パトロールを強化

本町管内における交通死亡事故ゼロの継続日数が、今月6日で、2,000日を達成します。

町ではこれを記念するとともに、今後も継続日数が伸びることを祈念して、飲酒運転防止の啓発のためのステッカーを全戸に、また、交通死亡事故ゼロの町を宣言するポスターを作成するなどのほか、町民パレードも行うことにしています。そして、これから多くなる雪道での交通事故防止や、年末年始にむけた飲酒運転の徹底追放のため、警察官や交通指導隊による巡回パトロールを強化することになっています。



長谷山千代蔵氏逝去

本町功労者（昭和53年）で、元町議会議員の長谷山千代蔵氏（地下の沢・81歳）が、11月8日、療養先の病院でお亡くなりになりました。

ご逝去を悼み、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

さようなら老方小学校



昨年3月蔵小、老方小が廃校、4月には高瀬小学校が誕生し、本町学校統合に幕がおりた。
(老方小廃校式・59年3月)



東由利中学校の給食棟が本年10月に完成、11月5日から給食が開始された。

学校教育の環境整備終わる



本町の学校統合は、昨年春に開校した高瀬小学校を最終に完了、残されていた施設の整備も、今年度建設された高瀬小学校のプールと東由利中学校の給食棟の完成を最後に完工を見ました。今後、中学校1校、小学校3校に統合・整理され、施設の整った学校教育体制の中で、より密度の濃い教育内容による、優れた人間形成を最重点とした教育の振興が期待されます。

学校統合・施設整備の歴史

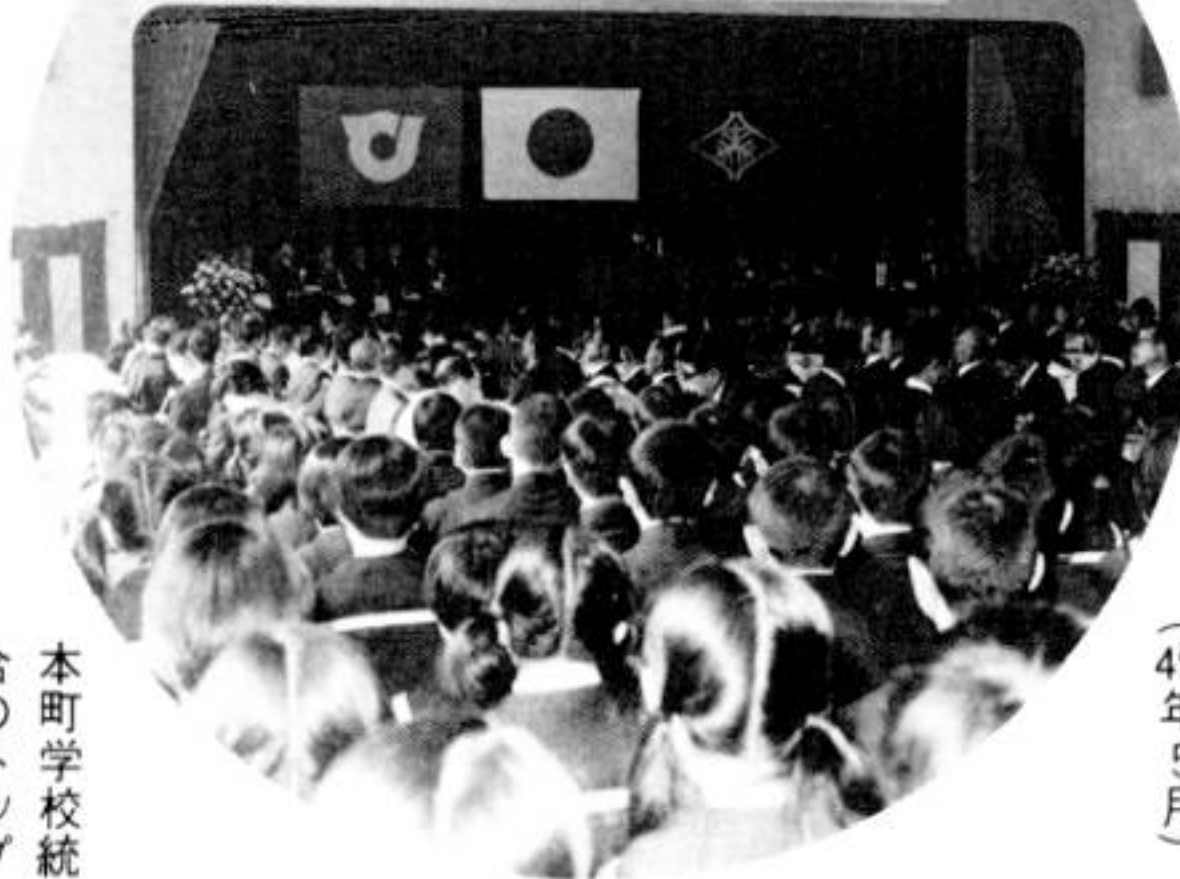
50 ・11	49 ・5	48 ・9	47 ・11	46 ・4	44 ・4
玉小新体育館完成	蔵小にスクールバス購入	蔵、法内小統合	大台分校完成	同陶芸小屋完成	同寄宿舍完成
					同技術室完成
					同プール完成
					東由利中学校舎完成
					下郷、玉米両中学校が統合し東由利中学校開校
60 ・10	59 ・4	57 ・3	56 ・4	53 ・11	
東由利中給食棟完成	同プール完成	高瀬小学校舎、体育館完成	同グラウンド完成	蔵、老方小学校が統合し高瀬小学校開校	八塩小学校舎完成
					八塩小学校開校
					玉米、住吉小学校が統合し八塩小学校開校
					大琴小学校開校
					宿、袖山小学校が統合し八塩小学校開校
					宿小新校舎、体育館、プール完成

本町学校統合のトップを切ったのは下郷、玉米両中学校の統合で、昭和44年に東由利中学校が誕生、46年には本町初の鉄筋コンクリート構造の校舎が、約2億6千万円の巨費を投じて完成しました。以後14年を経、本年給食棟の建設が実現、11月から給食が開始されました。小学校においては、人口の過疎化なども反映して、49年に法内小が蔵小に統合、初めてスクールバスが導入されました。以後、小学校の統合は老朽校舎の解消などとも併わせ急速に進み、10年間で7校の小学校が3校に整理、学校統合の終わりを告げるべく昨年4月には蔵、老方両小学校が高瀬小学校として生まれ変わりました。そして本年、同校にプールを建設し8月に完成、小・中学校共に施設の整備を完了、本町学校教育の環境が整いました。整備された教育環境の下で、今後、より優れた人間形成のための教育の充実に期待がかけられます。

祝 東由利中学校校舎落成

を切った下郷、玉米両中学校の統合
(東由利中落成式・44年10月)

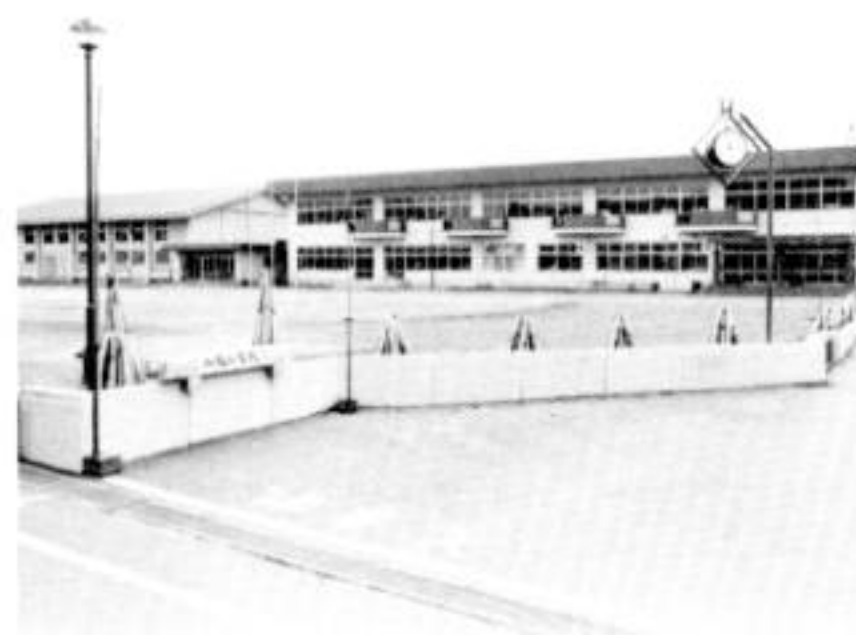
本町学校統
合のトップ



法内、蔵小が49年に統合、本町に
初めてスクールバスが購入された
(49年5月)



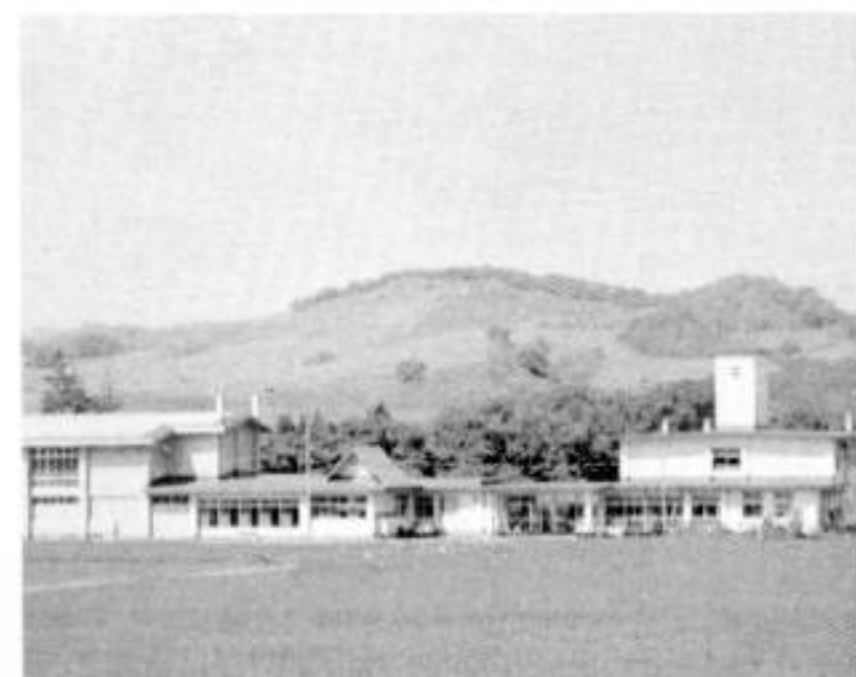
東由利中学校



八塩小学校



高瀬小学校



大琴小学校



りっぱな校舎で
勉強に励む八塩小児童



完成したばかりのプ
ールではしゃぐ高瀬小の児童



心身共に健全な体を…と、
毎日乾布摩擦をしている大琴小児童

3、500人の 人出でにぎわう

〈生活文化祭 農協祭〉

町生活文化祭と町農協祭は、11月3日と4日、有鄰館、ライスセンターなどを会場に開かれ、2日間で延べ3、500人の観客でにぎわいました。



町民の芸術作品など計1、458点を展示（衣服・手芸展示場）

町生活文化祭では、町民の芸術作品など1、458点が展示されたほか、3日に行われた町公民館地区分館やサークルの演芸発表には、会場いっぱい観客が詰めかけ、次から次と飛び出る歌や踊り、劇に、絶え間ない拍手が送られていました。



分館やサークルの演芸発表に詰めかけた大勢の観客

また、町農協祭には、農作物の豊作も反映して、目を見張るばかりのりっぱな農産物がずらりと並び、観客の目を奪っていました。



りっぱな農産物がずらりと並べられた農協祭会場

東由利中 4連覇 ならず

郡市珠算競技大会

第32回郡市珠算競技大会（本荘市由利地区商工会連絡協議会主催）が、10月26日、本荘市北中学校で行われ、団体競技中学校の部で4年連続優勝をねらう東由利中学校が、1位の出羽中（大内町）に5点差で、惜しくも優勝をのがしました。

入賞を果しました。（敬称略）
〈中学校個人競技の部〉
5位▽菊地由紀恵（東由利中1年）
〈小学校 同部〉
4位▽鈴木江利子（大琴小6年）
〈中学校読上算の部〉
3位▽鈴木貴子（東由利中3年）
5位▽佐々木範子（同3年）
〈小学校 同部〉
5位▽阿部淳子（高瀬小5年）



由利福祉事務所の講演

「魚獲り」の 趣味を本に

小松順之助さんが
「漁の四季」を出版

「魚獲りが三度の飯よりも好き」という、小松順之助さん（中通・前由利高校校長）が、幼少から現在に至るまで、一貫して持ち続けてきた趣味「魚獲り」を、本にして出版、釣り愛好者などから好評を得そうです。

同書は、「漁の四季」と題し、漁の技術のみならず、季節の移ろいや漁の情景、人々との出会い、魚料理の仕方などを内容に、専科ではなく、エッセイ風に約250ページにわたって書いてあります。なお、同書は実費出版で、1冊1、300円。冊数に制限があり、希望する方は早目の連絡が必要です。（☎69・3004・小松順之助さんまで）

地区住民の結集を誓い合う

蔵地域の和と福祉を高めるつどい

町公民館蔵分館を主に、蔵地区の自治会などで組織する蔵地区コミュニティ協議会が、このほど「蔵地域の和と福祉を高めるつどい」を開催、地区住民ら100人余りが参加し、地域福祉向上のために地区住民の力を結集させていくことを誓い合いました。

つどいは、同地域に春あけぼのする町特別養護老人ホームを主体に進められ、由利福祉事務所長の講演、畠山町長の特別養護老人ホームについての説明や参加者による質疑・応答が行われました。このあと、蔵分館が演劇「がん

こおやじ」を披露、つどいを盛り上げました。

教育環境整備を終えて



暮れも押し迫った初冬——文部省の係官二人が、県教育庁の方とともに町を訪れた。

中学校給食施設の完成による現地視察と、あわせて僻地教育環境の実態調査に訪れたものであった。

私は、この時期に来町されたことを心から歓迎した。それは、給食施設の視察もさることながら、中学校の遠距離通学生徒の寄宿舎生活がはじまっている時期であり、それに、視察地の大台分校周辺が、前日來の降雪により、僻地教育環

境をみていただくには好都合の場をつくったからである。

ともあれ、わが町の教育環境の整備（統合）が、高瀬小学校のプール建設と、東由利中学校の給食施設の建設をもって終了した。

15年前の中学校の統合、そして、かつて7校あった小学校を3校に統合するまで、幾多の問題を乗り越えてきただけに、この度の教育環境整備の終了は、感慨もひとしおのものがある。



特に、15年前に統合した中学校に、給食施設を……との町民の強い要望に答えることができたことを喜んでい。——これで、学校統合のすべてが終わった——そんな実感を胸にしている。

さて、統合は、施設の完工によって終わるというものではない。真の統合の目的は、教育の充実にあるはずである。その意味では、これからがほんとうの統合時代に入ったといえよう。

教育は人なりといわれる。私の

持論であるが、「師は鑑」である。これが基本であり、基礎であつてこそ、統合の真の目的が達成されよう。

いま、教育現場での「いじめ」の問題が、社会問題として大きく取り上げられ、そしてまた、先ごろ日教組の活動について高等裁判所は、きびしい判決で教師の立場を明らかにした。

そしていま、「心の教育」が大きくクローズアップされてきている。

統合の終了による新しい教育環境で、真の教育目的が達成されるよう心から願ってやまない。

「出稼ぎ留守家族」を励ます

祝沢で「母と子の教室」開催
老方分館

町公民館老方分館が祝沢地区の「出稼ぎ留守家族」を対象に、このほど祝沢会館で「母と子のつどい」を開催、同地区の母と子ら40人余りが参加し、町教育委員会小松正昭次長を講師とした町の歴史

小松教育次長から墨絵の書き方を習う祝沢地区の母子たち



のお話し、墨絵の書き方などのほか、紙芝居やビデオを見ながら楽しいひとときを過ごしました。

祝沢地区（20戸）からは、毎年13～15人の人たちが出稼ぎに出ており、一家の大黒柱が留守でさみしい母子らにとって、励ましも加わった、有意義な一日となりました。

2作品が知事賞に輝く

県発明展で11人が入賞

第34回秋田県発明工夫展が、11月16日から19日まで県児童会館で開催され、本町からも29点を出品。

審査の結果、高瀬小5年畠山尚子さんの作品「片手で止められるポンプ」と、同3年大日向将也くんの作品「トイレットペーパー入れ」が、知事賞に輝いたほか、次の方々が各賞を受賞しました。（敬称略）

〈発明協会秋田県支部長賞〉
高橋義樹（高瀬小5年）「目盛付きテープカッター」

〈斉藤憲三顕彰会賞〉
千葉和重（高瀬小6年）「取り付け斜面草刈機」・阿部歩（八塩小2年）「色変わりのおもちゃ」

〈発明協会秋田県支部奨励賞〉
阿部真由美（高瀬小4年）「伸び

伊東さん浅田さんに
知事表彰 — 統計 —

11月13日に県児童会館で行われた昭和60年度秋田県統計大会で、伊東政太郎さん（横渡）と浅田光子さん（舟木）が、県知事から表彰されました。

伊東さんと浅田さんは、町の諸

統計調査に長年にわたり従事、統計の重要性を認識し、正確な調査を行ってききました。

理世さんに

「游玄会賞」

11月2日から4日間、本荘市で開かれた「米まつり」の「游玄会書展」に、本町八塩小学校から、140点を出展、その中で、同校3年の小野理世さんの作品に「游玄会賞」がつけられたほか次の方々が上位入賞をしました。（敬称略）

〈特選〉

- ・佐藤晶子（八塩小3年）
- ・佐藤良子（同 6年）
- ・三浦雅弘（同 6年）

「歳末たすけあい運動」実施中



みんなのひろば

若者の集いの場に 喫茶店の設置を



遠藤孝子さん
新 処



広報の「ヤングレポート」に、毎回のように入若者の集まる場所を望む声が出ています。どんな場所を望んでいるのか想像もつかずにいましたが、11月号の「ヤングレポート」に「喫茶店を町営で…」との意見が出ていました。考えてみると、本町にはお酒を飲む場所や食堂などはあっても、喫茶店という名のつく場所は一つもありません。あらためて近隣の町村をみてみると、どの町村にも1軒や2軒は必ずあるようです。

喫茶店は町で建てるべきものではないにしても、若い人たちが気軽に交流できる場としての喫茶店の存在を考えると、何らかのテコ入れが必要であり、もし民間の設置がないのであれば町営もやむを得ないのではないのでしょうか。若者が定住する町づくりのためにも…

われら中年 がんばります！

佐々木日出夫さん

大 琴・45歳

1年の3分の1を
PTA活動に…

秋田美術専門学校を卒業後、建具職人として28年間がんばっている佐々木日出夫さん。



「かつて建具の仕事は需要に応えきれないほどあったことも…しかし現在ではアルミ製品の氾濫で木製建具の需要が激減…」と、建具職人の不振を訴える佐々木さんでしたが、若いころ建具製作の技術を競う競技で優勝したことのある

私の赤ちゃん

17



小松 舞ちゃん・中通

60・2・27生まれ

昌英さんと紀子さんの長女

こんにちは—小松家のニューフェイス舞で—。

ただ今9か月、病気一つせず毎日元気に過ごしています。

将来が不安になるくらいヤンチャぶりを発揮して、子もりのおばあちゃんを手こずらせています。

健康で、誰にでも好かれる良い子に育ってほしいですね。

「かつて建具の仕事は需要に応えきれないほどあったことも…しかし現在ではアルミ製品の氾濫で木製建具の需要が激減…」と、建具職人の不振を訴える佐々木さんでしたが、若いころ建具製作の技術を競う競技で優勝したことのある

佐々木さんは、仕事のほかに、町連合PTAと、大琴小学校PTAの会長という大きな役目を持っており、1年の3分の1を、そうした役のために費やしています。そうした役のためにたずさわる中で、深刻化する「いじめ」について、「本町にもその波が現実におしよせてきている。私たち親が、家庭で、PTA活動で、子育てを反省し、子供と対決する覚悟が必要だ…」と、キツバリと話し、「非行の芽は小さいうちに摘み取ろう—そのために、PTA活動を充実させ、真剣な取り組みが必要だ」と力説していました。



紹介者
ちほる
工藤千春さん



恵利子さんは、わたしよりも足が速く、美人です。男の子をいじめるのが大好きで、二人でよく男の子をいじめて遊びます。

人気もの
えりこ
遠藤恵利子さん
高瀬小・3年

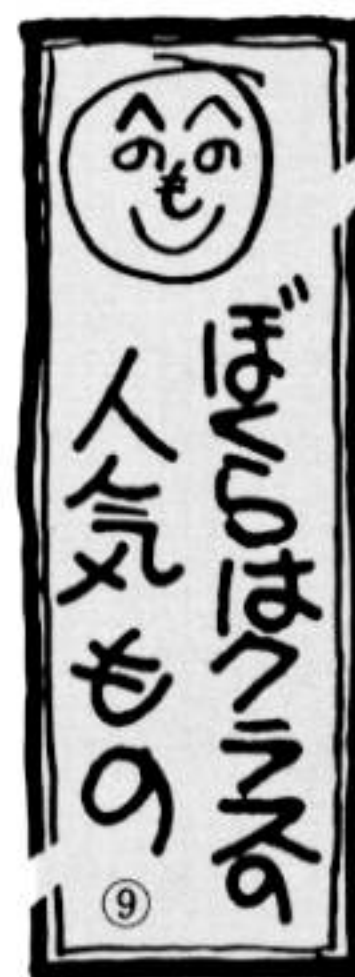


紹介者
とわら
畑山孔くん

人気もの
ひでき
高橋英樹くん
八塩小・3年

ぶどうが大好きで、ほしぶどうが大好きな英樹くんは、ラジコンのホットショットがほしくてほしくてたまらないそうです。

町内小学校3年生のクラスの人気ものを、仲の良いお友だちから紹介していただきました。



町の生活目標

1. 町の心は明るいあいさつ
2. きれいな町で健康な暮らし
3. ミエ・ムダはぶいて生活の工夫
4. 学び・働き・助けあう・ゆたかな心



エレクトロニクス産業が急速に進展し始めたのは今から10数年ほど前で、この(有)小野電子工業も、そうした電子産業の急成長下にあって昭和48年に生まれました。操業当初は、電子計算機の一部品を製造していましたが、ニューメディアの発展に伴い、現在ではビデオデッキのデジタル表示板の一部を製造しています。受注先は県内電子業界でも大きな規模をもつ「秋田エレコン」(秋田市)で、「秋田エレコン」は本



(有)小野電子工業

- ・佐藤 真弓さん
- ・小松真希子さん
- ・小野真理子さん
- ・畑山トワ子さん



右からトワ子さん、真理子さん、小野社長、真希子さん、真弓さん

町出稼ぎ者の就労が多い「双葉電子」(千葉県茂原市)の一部門を担う会社でもあるということです。同社工場内には、先端技術を駆使して作られた機械がぎっしりと詰め込まれ、12名の女子社員がオペレーターとなって作業をしています。まだ35歳という若い社長の小野裕明さんは、「電子業界は競争率が激しく、生き伸びるためには良い製品をお得い先へ届けること」と、きびしい面持ちで話していました。

高校生の企業訪問

No. 9



ゆりかご句会
十一月句会

冬灯膝にひろげる手内職 澄子
炉開けば飼はざる猫の足の痕 北阪子
みちのくのりんご旅立つ宅急便 貞子
葉の落ちる音して夜着の肩寒し 一柿
手を振りて応える園児村小春 秀月
自然薯掘るや右に左に向きを替え 鉄牛
秋おわる短くなりし嬰の産着 女沙

納屋の灯のもれて音なく寒降る 孤舟
精農の嫁の誇れる戦手 芳翠
枯野行く叔母の背荷物夕茜 掬水
稼き出て夫なきあとの冬守る 澄子
貫一を夜叉とする夜の羅紗まんと 北阪子
幼な児のくれし木の実に手のぬくみ 秀月
晩年の筆覚つかず冬座敷 貞子

人気もの
遠藤裕子さん
大琴小・3年



紹介者
遠藤牧さん

ものまねがとってもじょうずな裕子さんは、ときどき英語で歌をうたつてみんなを楽しませてくれます。でも英語は話せません。

公民館
とーや
案内

▼ワシントン家族日記▼小学・中学・高校生▼現代っ子はすばらしい▼住んでみたメキシコ▼アメリカの家庭生活▼「笑い」の構造▼家庭でできる加工食品▼理由なき奥羽越成辰戦争▼戦後史上・下▼評伝太宰治▼展望戦後文学論議▼蛙のうた▼わが先行者▼戦後という時代わが安曇野▼本とつきあう▼小説の味わい方▼ジュニア科学講座・人類と技術▼腹鼓記▼シルクロード遍歴▼読すれば良書にあたる▼女たちのカリフォルニア▼河童が覗いたインド▼あきた名物物語▼佐竹物語▼勝ち抜く僕ら少国民▼月山抄▼蒼獣鬼▼根こんぶ健康法▼明日への性教育▼気がつけば騎手の女房▼妖戦地帯▼日本の古代遺跡▼日本がアメリカと別れる日▼死角巨大事故の現場



みんなのひろば



ヤングレポート

19

無口な中に心の強そうな俊子さんをレポートしました。

昨年の12月まで、神奈川県厚木市のソニー(株)に勤め暮れにUターン、今年5月から「秋田信英」で生産管理の仕事をしています。信雄さんの長女で、父母、祖父、妹二人の6人家族です。結婚は好きな人ができればいつでも…という俊子さんに聞いてみました。

現像の男性は……館ひろしさんみたいな、男らしくてたよりがいのある人。

モットーとしていることは……約束は絶対守るよう心がけています。約束の守れない人は大嫌いなんです。

今いちばんしたいことは……旅行と、思いきり体を動かしたい…スポーツをして。早く町民体育館が建ってほしいです。

しゅんこ
八島俊子さん
黒瀬・23歳
37・4・19生まれ



18

サッポロの秋田県人会

例年になく暑かった夏が過ぎてまだ間もないと思っていたのに、北国の冬はいつもせっかちにやってきます。

ふるさとの皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

私が島の生家を出たのは中学校を卒業した年ですから、もう33年にもなりましたが、年を経るにつれて、また、毎月送って頂いている広報を拝見する度に、



畑山 斉さん
(島出身・48歳)

ふるさとを一層懐しく思い出しています。

その中学校の同期会が、今年の2月に東京で行われ、50名ほどが集まりました。方々の土地で、皆元気に頑張っています。

札幌では正月と秋の2回「県人会」があり、それとは別に「由利会」もあります。「県人会」の歴史は古く、他の県には例をみないのだそうです。戦後の食糧難の頃は、「秋田県人会に行けば地酒が腹一杯飲める」との噂話が広まり、大勢の出席者で終始賑わっていた

そうです。

現在は会員数も1、500名にのぼり、デパートの食堂を借り切った「県人会」では県知事からのメッセージを待ちきれずに、県産の「こも樽」が割られ、冷酒とふるさとの話はことのほか利きめが早く、時の経つのも忘れてしまいます。若い人が少ないのですが、二、三度出席しているうちに知り合いもできて、今では楽しみの一つになりました。

終わりに、お願いが一つあります。町役場か何処かに「帰省日誌」のようなものを設置して頂けないものでしょうか。ふるさとを出た人々の動静を知りたいという方も思っています。

(お住い)札幌市白石区南郷通14・南8・10

元気ですか
保健婦です

16

どうして受診しないのですか？

ていますが、わずかな受診率なのに、けっこう子宮ガン以外の病気が見つかったりも事実なのです。

実は、今回の事実を真剣に受け止め、愛育班員さんの手をわずらわせ、過去3ヶ年以上検診を受けない人や、今年申し込んで受けない人に、アンケートをお願いし、子宮ガン検診の今後の方向を見出したいと思っています。

主婦が病気がちであるくらい家族を困惑させ、家庭を暗くすることが他にあるのでしょうか？。いつも思う事は妻の健康を気遣い検診を勧める夫はどれくらいいるのでしょうか？。(勿論、主婦が自主的に検診を受ける事が望ましいのですけれど)

忙しいからとか恥ずかしいからとか理由がアンケートから多く出そうですが、果して貴女はどんな理由になりそうですか？。(保健婦・小松)

情報コーナー

利子の非課税制度が変わりました

昭和61年1月1日以後に預け入れる預貯金に対するマル優などの手続きが変わります。

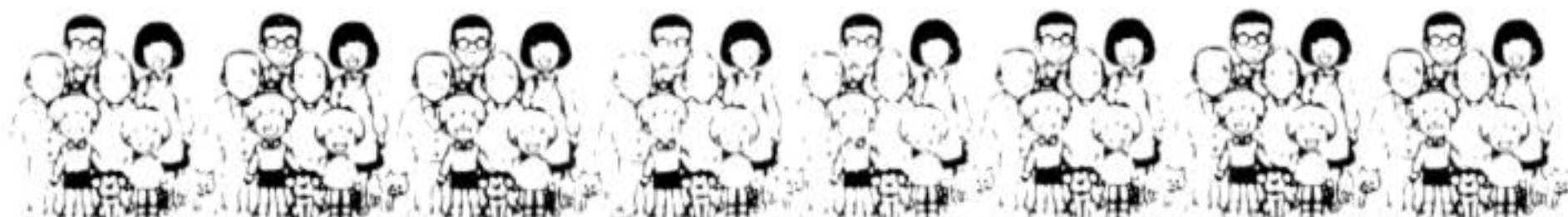
預貯金の口座を開設する場合には、住民票の写し、印鑑証明、

健康保険証、年金手帳、運転免許証、などを呈示して、住所、氏名及び生年月日の確認を受けなければならぬことになりました。これらの手続きをしない預貯金の利子には所得税がかかります。

詳しくは、最寄りの税務署や

さわやか君

西村 宗



小野 貞 賢さん

明治44年9月15日生・74歳

ヨシエさん

大正2年12月21日生・71歳

蔵・結婚歴53年



貞賢さんは、蔵地区の老人クラブ「莊寿会」で会長を務め、町老人クラブ連合会では会計を務める、本町高齢者社会の第一線者。また、ゲートボール2級公認審判員の資格を持ち、町の「父さんゲートボール大会」では審判として大活躍をしています。そうした貞賢さんを影で見守ってくれているヨシエさんは、4年前に心臓の手術を受けながらも、現在人並み以上に元気で、しかも年齢より10歳以上も若く見える容姿をしています。よくよく見ると、よく眠ることが健康の秘訣というお二人、いつまでもお元気で。

今月の催し

- 1日・室内ゲートボール教室(八塩小)
- 2～4日・スポーツ教室(大琴小)
- 3日・前立腺がん精密検査(有鄰館)
- 9日・室内ゲートボール教室(高瀬小)
- 10～12日・スポーツ教室(高瀬小)
- 11日・3歳児検診(有鄰館)
- 14日・インフルエンザ予防注射(大琴小)・乳児健康相談(有鄰館)
- 15日・室内ゲートボール教室(大琴小)
- 16日・法内地区成人病予防学級(克雪センター)
- 16日・18日・20日・子宮がん検診
- 20日・大平スキー場開き
- 21日・農業委員会
- 23～25日・町議会定例会(予定)

●香典返しに替え、長谷山アイ子

*ありがとう

さん(地下の沢)から金一封が、町社会福祉協議会に届けられました。ありがとうございました。

税務相談室へどうぞ。

「わが家の家計簿」体験談募集

- 内容 家計簿記載に関すること
- 原稿 400字詰原稿用紙5枚以内(2,000字以内)
- 期限 61年2月28日
- 賞品 特賞5編に各5万円ほか、入選計50編
- 送り先 秋田県貯蓄推進委員会(秋田市大町2-1-35)
- 詳しくは、町役場総務課まで。

東北民謡コンクール出場者募集

- 部門 新人部門(15歳～25歳) 大賞部門(25歳以上)
- 出場資格 県内在住者で、プロ、や中学生は除く。
- 日程 予選会12月15日 秋田県大会12月23日 優勝大会13月9日

火災予防と

査察にご協力を

火災の多発期を迎えました。火気使用器具並びに屋内外の煙突、特にメガネ石の取付状況、火気の後始末、燃料(石油)等の保管、避難口の確保に注意し、火災予防と査察にご協力ください。火の元検査は12月初旬に行います。

電話ケーブルへの発砲に注意!

狩猟のシーズンに入り、電話ケーブルに散弾をうけ、不通になる故障が心配されます。発砲に際しては、付近の電話ケーブルに十分ご注意ください。

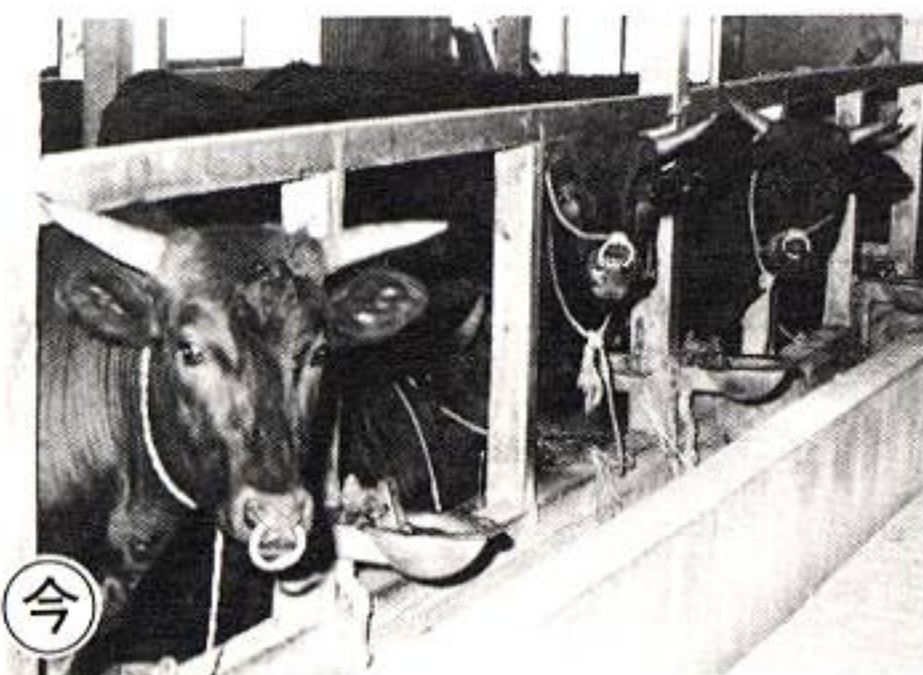
詳しくは ☎ 0188 (23) 5411・NHK秋田放送局民謡コンクール係まで。



昔

ヒツジ・ヤギがいたころ

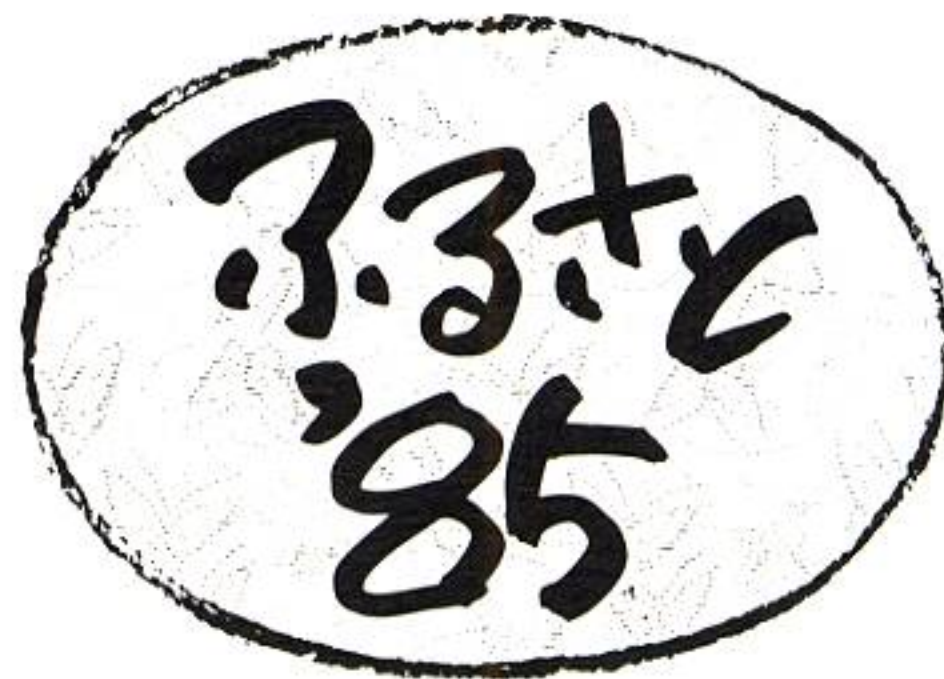
現在は牛が経済を支える存在



今

ヒツジやヤギは家畜として、牛や馬よりも以前から飼われていたといわれます。本町でもかつては多くのヒツジやヤギを飼い、剪毛や搾乳で収入を得ていました。

写真上は、昭和31年3月に撮ったもので、このあと4月～5月にかけて年に一度のヒツジの剪毛が行われました。現在では、ヒツジもヤギもほとんど姿を消し、これに代わる家畜として、肉・乳用牛や豚が、約500戸の農家で飼われ、特に牛は本町の経済を支える重要な存在となっています。



郷土の野草

⑨

ユキノシタ (ユキノシタ科)

湿り気の多い流れのそばの石垣や樹林によく見られる草で、全体に赤みの毛が密生し、紅紫色の細かい糸のような枝を伸ばしてふえまです。葉は濃い緑色で白いまだらがはいり、ほぼ円形にちかく長い柄があり、葉のうらは赤く、初夏に葉間から花茎を出し白色の小さな五弁花をつけます。雪の下でも枯

れないのでこの名がついたのでしょう。年中揚げもの、あえものに利用でき、解熱、せき止め、ひきつけに、生汁は火傷、耳だれ、はれものに効用があります。(小松忠正)



町の二統計 11月 (10/1～10/31)

●人口 () 内は前月と比較	() 内は1月からの累計
・男 3,035人 (△5)	●出生 3人 (50)
・女 3,117人 (△4)	●死亡 4人 (47)
・計 6,152人 (△9)	●結婚 2組 (15)
●世帯数 1,423世帯 (0)	●離婚 一組 (3)
●ゴミ処理量..... 30 t (364)	
●火災発生件数..... 0 件 (5)	
●救急車出動回数..... 12 件 (78)	
●交通事故..... 5 件 (13)	
●交通死亡事故「0」継続日数..... 1,964日	
●総合開発センター「有隣館」利用者数 1,474人 (15,299)	
●老人いこいの家「朋楽荘」利用者数 435人 (4,924)	

戸籍の窓口

(10/21～11/20届出・敬称略)

うぶ声



畠山 聡司 (男) 光夫・長男 茂沢
小松 茂靖 (男) 茂穂・長男 新町
小野 茉莉菜 (女) 久隆・二女 時雨山
小松 晶子 (女) 俊太郎・長女 中通

結婚

佐藤 一廣 黒 渕
小野 順子 高 屋
村上 忠悦 石 高
渡辺 主江 時雨山

おくやみ



佐藤 ナホエ (86) 幸悦・母 時雨山
小野 寺タケヨ (78) 勝蔵・母 板戸
長谷山 千代蔵 (81) ナヲ・夫 地下の沢
大庭 武志 (63) テル・夫 舟木

町民の声を町政に!

町長の面会日今月は20日